

経 営 学 部

マネジメント総合学科

履修の手引と手続

I 授業科目について

経営学部マネジメント総合学科における授業科目は、基本科目、専門科目（共通基礎科目分野、専門教育科目分野、プロジェクト研究科目分野）、関連科目（総合教育科目分野、語学教育センター講座）からなる。

その他、教員志望者のための「教職に関する専門科目」や「教科に関する専門科目」等の自由科目がある。

II 授業科目の単位と認定

本学では単位制が採用されている。単位制とは、一つ一つの授業科目に一定の基準により定められた単位があり、履修した授業科目に対して、試験その他の方法により学習評価をしたうえで、その単位を認定する制度である。

単位認定の評価は、S・A・B・Cにより単位を修得したことを示す。

III 進級条件について

各年次で進級に必要な最低単位数は、次の表に示すとおりである。

1年次 から 2年次へ	次の科目を含んで16単位 基礎ゼミⅠ（キャリア研究含む）……………4単位 共通基礎科目……………4単位
2年次 から 3年次へ	次の科目を含んで60単位 基礎ゼミⅠ（キャリア研究含む）……………4単位 基礎ゼミⅡ（キャリア研究含む）……………4単位 コミュニケーション基礎英語A・B・C・D コミュニケーション英語A・B（12単位中）……………4単位 共通基礎科目（必修科目8単位を含む）……………12単位
3年次 から 4年次へ	次の科目を含んで88単位 基礎ゼミⅠ（キャリア研究含む）……………4単位 基礎ゼミⅡ（キャリア研究含む）……………4単位 コミュニケーション基礎英語A・B・C・D コミュニケーション英語A・B（12単位中）……………4単位 ゼミナールⅠ（キャリア研究含む）……………4単位 共通基礎科目（必修科目8単位を含む）……………12単位

注意：①上記の進級に必要な最低単位数には、自由科目は含まない。

②1年次から3年次の各年次で40単位程度修得することが望ましい。

③授業科目によっては、履修者数の制限を行うことがある。

Ⅳ 卒業について

卒業に必要な単位数は、次の表に示すとおりである。

ただし、自由科目は一部の科目を除いて卒業に必要な単位数には含まれない。

系 列	学 部	経 営 学 部	
	学 科	マネジメント総合学科	
	項 目	単 位 数	
基本科目	基礎ゼミⅠ（キャリア研究含む）		4
	基礎ゼミⅡ（キャリア研究含む）		4
	コミュニケーション基礎英語 A・B・C・D コミュニケーション英語 A・B		12
	ゼミナールⅠ（キャリア研究含む）・Ⅱ（キャリア研究含む）		8
専門科目	共通基礎科目分野		20
	専門教育科目分野		50
	プロジェクト研究科目分野		2
関連科目（総合教育科目分野）		32	
合 計		132	

Ⅴ 履修単位の上限について

各年次には、次のように履修単位の上限が決まっているので、留意して履修申請を行い進級、卒業に必要な単位数を満たすこと。

年 次 単位数	1年次	2年次	3年次	4年次
履修単位の上限	48 単位	44 単位	44 単位	44 単位

- (1) 自由科目は履修上限単位数に含まない。
- (2) 編転入生については履修上限単位数を超えて履修することを認めることがある。
- (3) JEAP 留学生（夏期語学研修含む）の履修上限単位数については、別途定める。

Ⅵ 授業科目の学年配当と修得すべき単位数

1. 基本科目

基本科目はすべて必修科目である。なお、次のとおり履修の条件がある。

- イ. 基礎ゼミⅡ（キャリア研究含む）を履修するためには、基礎ゼミⅠ（キャリア研究含む）の単位を修得していなければならない。また、2年次に進級している者とする。
- ロ. ゼミナールⅠ（キャリア研究含む）を履修するためには、次の①②③の条件を満たし、基本科目および専門科目か関連科目から 60 単位以上を修得していなければならない。

- ① コミュニケーション基礎英語 A・B・C・D, コミュニケーション英語 A・B の 6 科目 12 単位中 2 科目以上 4 単位以上を修得していること。
- ② 基礎ゼミ I (キャリア研究含む) および基礎ゼミ II (キャリア研究含む) を修得していること。
- ③ 共通基礎科目から 12 単位以上 (必修科目 8 単位を含む) を修得していること。
- ハ. ゼミナール II (キャリア研究含む) を履修するためには, ゼミナール I (キャリア研究含む) を修得していなければならない。また, ゼミナール I (キャリア研究含む) と同じ担当教員を継続して履修しなければならない。
- ニ. コミュニケーション英語 A・B を履修するためには, コミュニケーション基礎英語 A・B・C・D の 4 科目 8 単位中 2 科目以上 4 単位以上を修得しなければならない。
- ホ. 特別共同教育プログラムにより編入学した者は, プレゼミナール 2 単位とゼミナール II S 2 単位を併せてゼミナール II (キャリア研究含む) 4 単位に充てる。

基 本 科 目

系列	学年配当	授 業 科 目	単位数
基 本 科 目	1	基礎ゼミ I (キャリア研究含む)	4
		コミュニケーション基礎英語 A	2
		コミュニケーション基礎英語 B	2
		コミュニケーション基礎英語 C	2
		コミュニケーション基礎英語 D	2
	2	基礎ゼミ II (キャリア研究含む)	4
		コミュニケーション英語 A	2
		コミュニケーション英語 B	2
	3	ゼミナール I (キャリア研究含む)	4
		※プレゼミナール	2
	4	ゼミナール II (キャリア研究含む)	4
		※ゼミナール II S	2

※特別共同教育プログラム編入生履修科目

2. 専門科目（共通基礎科目分野，専門教育科目分野，プロジェクト研究科目分野）

専門科目（共通基礎科目分野，専門教育科目分野，プロジェクト研究科目分野）から，72単位以上修得しなければならない。なお，学年配当が決まっているので，「V 履修単位の上限について」を踏まえて各年次で計画的に履修し，「Ⅲ 進級条件について」「Ⅳ 卒業について」を留意し所定の単位を修得すること。

マネジメント総合学科専門科目

※単位数に○印を付してある科目は必修を示す。

単位数に□印を付してある科目は6科目中2科目選択必修

系列	分野	学年配当	授 業 科 目	単位数	最低取得単位数
専 門 科 目	共 通 基 礎 科 目	1	会計入門Ⅰ	②	20 単位以上選択必修 6 科目 12 単位のうち，2 科目 4 単位以上選択必修 なお，4 単位を超えて修得した単位は専門教育科目に充てる
			会計入門Ⅱ	②	
			情報技術Ⅰ	②	
			情報技術Ⅱ	②	
			経営学Ⅰ	②	
			経営学Ⅱ	②	
			企業マネジメント入門	□2	
			行政マネジメント入門	□2	
			環境マネジメント入門	□2	
			健康スポーツマネジメント入門	□2	
			グローバルマネジメント入門	□2	
		観光マネジメント入門	□2		
		2	マーケティング論Ⅰ	②	
マーケティング論Ⅱ	②				

系列	分野	学年配当	授 業 科 目	単位数	最低取得単位数
専 門 科 目	専 門 教 育 科 目	1	日本の産業Ⅰ	2	50 単位以上選択必修
			日本の産業Ⅱ	2	
			ベンチャービジネス入門Ⅰ	2	
			ベンチャービジネス入門Ⅱ	2	
			会計エキスパートⅠ	2	
			会計エキスパートⅡ	2	
			シミュレーション演習入門	2	

系列	分野	学年 配当	授 業 科 目	単位数	最低取得 単位数
専 門 科 目	専 門 教 育 科 目	1	情報学概論	2	
			経営学のための数学Ⅰ	2	
			経営学のための数学Ⅱ	2	
			情報倫理とセキュリティー	2	
			情報化社会と法	2	
			社会におけるコミュニケーションⅠ	2	
			社会におけるコミュニケーションⅡ	2	
			心理学Ⅰ	2	
			心理学Ⅱ	2	
			福祉と環境	2	
			情報分析Ⅰ	2	
			情報分析Ⅱ	2	
			情報エキスパートⅠ	2	
			情報エキスパートⅡ	2	
			マクロ経済学入門	2	
			ミクロ経済学入門	2	
			地球環境論Ⅰ	2	
			地球環境論Ⅱ	2	
			国際ボランティア論	2	
			地域ボランティア論	2	
			現代社会と法Ⅰ（日本国憲法）	2	
			現代社会と法Ⅱ（国際法を含む）	2	
			観光マネジメント論	2	
			ホスピタリティマネジメント論	2	
			海外マネジメント研修（北米）	2	
			海外マネジメント研修（ASEAN）	2	
			国際交流研修	2	
サービス・マネジメント	2				
サービス・マーケティング	2				
観光マーケティング	2				
サービス産業論Ⅰ	2				

系列	分野	学年 配当	授 業 科 目	単位数	最低取得 単位数
専 門 科 目	専 門 教 育 科 目	1	サービス産業論Ⅱ	2	
			観光英語Ⅰ	2	
			観光英語Ⅱ	2	
			環境経営論A	2	
			環境経営論B	2	
			ミニマムスタンダード英語ⅠA	2	
			ミニマムスタンダード英語ⅠB	2	
			アスリート論A	2	
			アスリート論B	2	
			スポーツチームマネジメント	2	
			スポーツコーチング実践A	1	
			スポーツ社会学	2	
			スポーツ心理学	2	
			運動生理学概論	2	
			健康管理概論	2	
			機能的解剖学概論	2	
			スポーツイベント運営論	2	
		トップスポーツ運営論	2		
		2	会計入門演習	2	
			会计学Ⅰ	2	
			会计学Ⅱ	2	
			原価計算Ⅰ	2	
			原価計算Ⅱ	2	
			経営分析Ⅰ	2	
			経営分析Ⅱ	2	
			中級簿記Ⅰ	2	
			中級簿記Ⅱ	2	
			上級簿記Ⅰ	2	
上級簿記Ⅱ	2				
工業簿記Ⅰ	2				
工業簿記Ⅱ	2				
科学技術と環境	2				

系列	分野	学年 配当	授 業 科 目	単位数	最低取得 単位数
専 門 科 目	専 門 教 育 科 目	2	社会と環境	2	
			企業社会論Ⅰ	2	
			企業社会論Ⅱ	2	
			経営管理論Ⅰ	2	
			経営管理論Ⅱ	2	
			経営組織論Ⅰ	2	
			経営組織論Ⅱ	2	
			現代企業論Ⅰ	2	
			現代企業論Ⅱ	2	
			経営史Ⅰ	2	
			経営史Ⅱ	2	
			ベンチャービジネスⅠ	2	
			ベンチャービジネスⅡ	2	
			財務諸表Ⅰ	2	
			財務諸表Ⅱ	2	
			情報デザイン演習Ⅰ	2	
			情報デザイン演習Ⅱ	2	
			情報学特講Ⅰ	2	
			情報学特講Ⅱ	2	
			情報学特講Ⅲ	2	
			情報学特講Ⅳ	2	
			会社法A	2	
			会社法B	2	
			福祉マネジメント	2	
			ファイナンスⅠ	2	
			ファイナンスⅡ	2	
			ビジネス英語Ⅰ	2	
ビジネス英語Ⅱ	2				
マーケティング・コミュニケーション	2				
消費者行動論	2				
メディア・リテラシー	2				

系列	分野	学年 配当	授 業 科 目	単位数	最低取得 単位数
専 門 科 目	専 門 教 育 科 目	2	憲法AⅠ	2	
			憲法AⅡ	2	
			憲法BⅠ	2	
			憲法BⅡ	2	
			民法ⅠA	2	
			民法ⅠB	2	
			財政学Ⅰ	2	
			財政学Ⅱ	2	
			行政法Ⅰ	2	
			行政法Ⅱ	2	
			行政学Ⅰ	2	
			行政学Ⅱ	2	
			特殊講義（経営）	2	
			キャリアデザインⅠ	2	
			キャリアデザインⅡ	2	
			地域の行政Ⅰ	2	
			地域の行政Ⅱ	2	
			スポーツ組織論Ⅰ	2	
			スポーツ組織論Ⅱ	2	
			スポーツマーケティング論	2	
			地域スポーツ運営論	2	
			地域企業研究	2	
			ミニマムスタンダード英語ⅡA	2	
			ミニマムスタンダード英語ⅡB	2	
			プログラミングⅠ	2	
			プログラミングⅡ	2	
			公衆衛生	2	
			スポーツ衛生	2	
			データベースマーケティングA	2	
			データベースマーケティングB	2	
リーダーシップ開発A	2				

系列	分野	学年 配当	授 業 科 目	単位数	最低取得 単位数
専 門 科 目	専 門 教 育 科 目	2	リーダーシップ開発 B	2	
			スポーツコーチング実践 B	1	
			スポーツ情報論	2	
			スポーツコーチング I A	2	
			スポーツコーチング I B	2	
		3・4	データマイニング I	2	
			データマイニング II	2	
			流通経済論 I	2	
			流通経済論 II	2	
			生産管理論 I	2	
			生産管理論 II	2	
			国際経営論 I	2	
			国際経営論 II	2	
			中小企業論 I	2	
			中小企業論 II	2	
			経営戦略論 I	2	
			経営戦略論 II	2	
			経営財務論 I	2	
			経営財務論 II	2	
			人事労務論 I	2	
			人事労務論 II	2	
			産業心理学 I	2	
			産業心理学 II	2	
			産業社会学 I	2	
			産業社会学 II	2	
			比較経営史	2	
			日本経営史	2	
マーケティング・マネジメント I	2				
マーケティング・マネジメント II	2				
アジアの産業と企業 I	2				
アジアの産業と企業 II	2				

系列	分野	学年 配当	授 業 科 目	単位数	最低取得 単位数
専 門 科 目	専 門 教 育 科 目	3・4	非営利組織の経営	2	
			ビジネス・プランニングⅠ	2	
			ビジネス・プランニングⅡ	2	
			管理会計Ⅰ	2	
			管理会計Ⅱ	2	
			会計監査Ⅰ	2	
			会計監査Ⅱ	2	
			会計士特論ⅠA	2	
			会計士特論ⅠB	2	
			会計士特論ⅡA	2	
			会計士特論ⅡB	2	
			国際会計Ⅰ	2	
			国際会計Ⅱ	2	
			税務会計Ⅰ	2	
			税務会計Ⅱ	2	
			経営科学Ⅰ	2	
			経営科学Ⅱ	2	
			手形・小切手法A	2	
			手形・小切手法B	2	
			オフィス革新論	2	
			情報ビジネス戦略	2	
			非営利組織のマーケティング	2	
			労働法Ⅰ	2	
			労働法Ⅱ	2	
			国際マーケティングⅠ	2	
			国際マーケティングⅡ	2	
			市場調査論	2	
			広告論Ⅰ	2	
			広告論Ⅱ	2	
			産業経済論Ⅰ	2	
産業経済論Ⅱ	2				

系列	分野	学年 配当	授 業 科 目	単位数	最低取得 単位数
専 門 教 育 科 目	専 門 教 育 科 目	3・4	ロジスティクス概論	2	
			国際ロジスティクス	2	
			国際行政Ⅰ	2	
			国際行政Ⅱ	2	
			ビジネスマナーⅠ	2	
			ビジネスマナーⅡ	2	
			地方行政	2	
			リスクマネジメント	2	
			地方財政Ⅰ	2	
			地方財政Ⅱ	2	
			民法ⅡA	2	
			民法ⅡB	2	
			国際経済論Ⅰ	2	
			国際経済論Ⅱ	2	
			エコロジーⅠ	2	
			エコロジーⅡ	2	
			経営工学Ⅰ	2	
			経営工学Ⅱ	2	
			産業組織論Ⅰ	2	
			産業組織論Ⅱ	2	
			キャリアデザインⅢ	2	
			キャリアデザインⅣ	2	
			ファイナンスⅢ	2	
			ファイナンスⅣ	2	
			スポーツコーチング実践C	1	
			スポーツコーチング実践D	1	
			スポーツ・マネジメント論Ⅰ	2	
スポーツ・マネジメント論Ⅱ	2				
スポーツコーチングⅡA	2				
スポーツコーチングⅡB	2				

系列	分野	学年 配当	授 業 科 目	単位数	最低取得 単位数
専 門 科 目	専 門 教 育 科 目	3・4	応用 AI プログラミング	2	
			社会科学におけるデータサイエンス	2	
			ゲーム理論と AI	2	
			定量的政策評価	2	
			金融データ分析	2	

系列	分野	学年 配当	授 業 科 目	単位数	最低取得 単位数
専 門 科 目	プ ロ ジ ェ ク ト 研 究 科 目	1	まちづくり I	2	2 単位以上選択必修 なお、2 単位を超えて修 得した単位は専門教育科 目または関連科目に充て る
			まちづくり II	2	
			グローバルキャリア研究 A	2	
			グローバルキャリア研究 B	2	
		2	キャリア形成 I	2	
			インターンシップ I	2	
			インターンシップ II	2	
			プロジェクト研究 I	2	
			プロジェクト研究 II	2	
			行政キャリア研究 I	2	
		3	行政キャリア研究 II	2	
			キャリア形成 II	2	
		4	卒業論文	2	

なお、次の資格取得者は、申請により以下の科目の単位を認定し、履修を免除する。

(1) 会計入門Ⅰ、会計入門Ⅱの履修の免除

- イ. 日本商工会議所簿記検定試験（日商簿記）3 級以上
- ロ. 財団法人全国商業高等学校協会主催簿記実務検定（全商簿記）総合 1 級以上
- ハ. 社団法人全国経理教育協会主催簿記能力検定（全経簿記）総合 1 級以上

(2) 情報技術Ⅱの履修の免除

- イ. 基本情報技術者
- ロ. IT パスポート

3. 関連科目（総合教育科目分野・語学教育センター講座）

関連科目（総合教育科目分野）から、32単位以上修得しなければならない。なお、学年配当が決まっているので、「Ⅴ 履修単位の上限について」を踏まえて各年次で計画的に履修し、「Ⅲ 進級条件について」「Ⅳ 卒業について」を留意し所定の単位を修得すること。

（1）外国語選択科目

ドイツ語Ⅱ，フランス語Ⅱ，中国語Ⅱ，韓国語Ⅱを履修するためには，それぞれⅠを修得しておくことが望ましい。

マネジメント総合学科関連科目

系列	分野	学年配当	授 業 科 目	単位数	最低取得 単位数
関 連 科 目	総 合 教 育 科 目	1	経済思想史Ⅰ	2	32 単位以上選択必修
			経済思想史Ⅱ	2	
			経済史概論Ⅰ	2	
			経済史概論Ⅱ	2	
			コンピュータ・リテラシーⅠ	2	
			コンピュータ・リテラシーⅡ	2	
			倫理とは何か	2	
			倫理と社会	2	
			地域と生産	2	
			地域と風土	2	
			社会学A	2	
			社会学B	2	
			統計Ⅰ	2	
			統計Ⅱ	2	
			地球資源の地学	2	
			自然災害の地学	2	
			Oral EnglishⅠA	2	
			Oral EnglishⅠB	2	
			English CommunicationⅠA	2	
			English CommunicationⅠB	2	
			留学英語A	2	
			留学英語B	2	
			教養英語A	2	
教養英語B	2				

系列	分野	学年 配当	授 業 科 目	単位数	最低取得 単位数	
関 連 科 目	総 合 教 育 科 目	1	資格英語ⅠA	2		
			資格英語ⅠB	2		
			資格英語ⅡA	2		
			資格英語ⅡB	2		
			資格英語ⅢA	2		
			資格英語ⅢB	2		
			英語集中トレーニングA	4		
			英語集中トレーニングB	4		
			Public CommunicationⅠA	2		
			Public CommunicationⅠB	2		
			ドイツ語ⅠA	2		
			ドイツ語ⅠB	2		
			フランス語ⅠA	2		
			フランス語ⅠB	2		
			中国語ⅠA	2		
			中国語ⅠB	2		
			中国語集中トレーニングⅠA	4		
			中国語集中トレーニングⅠB	4		
			スペイン語A	2		
			スペイン語B	2		
			韓国語ⅠA	2		
			韓国語ⅠB	2		
			ハンガリー語A	2		
			ハンガリー語B	2		
			ポーランド語A	2		
			ポーランド語B	2		
			チェコ語A	2		
			チェコ語B	2		
			マレー語A	2		
			マレー語B	2		
			日本語ⅠA	2		} 留学生履修科目
			日本語ⅠB	2		
生涯スポーツ論	2					

系列	分野	学年 配当	授 業 科 目	単位数	最低取得 単位数
関 連 科 目	総 合 教 育 科 目	1	健康スポーツ I A	1	
			健康スポーツ I B	1	
			健康スポーツ II A	1	
			健康スポーツ II B	1	
			文化と歴史 I	2	
			文化と歴史 II	2	
			世界の中の日本 A	2	
			世界の中の日本 B	2	
			地域と大学	2	
			グローバル社会と女性	2	
			女性とダイバーシティ (女性の働き方)	2	
			女性とキャリアデザイン (女性と企業)	2	
			国際グローバル研修	2	
			自校史研究 (建学の精神と大学の理念)	2	
			社会教養基礎	2	
			基礎リテラシー I A	2	
			基礎リテラシー I B	2	
			文化研究 I	1	
			文化研究 II	1	
			海外研修 I	2	
		海外研修 II	2		
		海外研修 III	2		
		海外研修 IV	2		
		データサイエンス入門	2		
		2	社会安全政策論	2	
			マクロ経済学 I	2	
			マクロ経済学 II	2	
			ミクロ経済学 I	2	
			ミクロ経済学 II	2	
			経済政策 I	2	
経済政策 II	2				
日本経済論 I	2				
日本経済論 II	2				

系列	分野	学年 配当	授 業 科 目	単位数	最低取得 単位数
関 連 科 目	総 合 教 育 科 目	2	実践プレゼンテーション	2	
			地理学（地誌を含む）Ⅰ	2	
			地理学（地誌を含む）Ⅱ	2	
			政治学概説Ⅰ	2	
			政治学概説Ⅱ	2	
			人間生活の心理学Ⅰ	2	
			人間生活の心理学Ⅱ	2	
			地域と産業Ⅰ	2	
			地域と産業Ⅱ	2	
			文化人類学Ⅰ	2	
			文化人類学Ⅱ	2	
			女性学概論	2	
			ジェンダー文化論	2	
			Oral English ⅡA	2	
			Oral English ⅡB	2	
			ドイツ語ⅡA	2	
			ドイツ語ⅡB	2	
			フランス語ⅡA	2	
			フランス語ⅡB	2	
			中国語ⅡA	2	
			中国語ⅡB	2	
			中国語集中トレーニングⅡA	4	
			中国語集中トレーニングⅡB	4	
			韓国語ⅡA	2	
			韓国語ⅡB	2	
			健康スポーツⅢA	1	
			健康スポーツⅢB	1	
			発育発達論	2	
			スポーツ医学	2	
			FP 論初級	2	
			FP 論中級	2	
			スポーツバイオメカニクス	2	
体力トレーニング論	2				
スポーツ栄養学	2				

系列	分野	学年 配当	授 業 科 目	単位数	最低取得 単位数
関 連 科 目	総 合 教 育 科 目	3・4	日本史概説Ⅰ	2	
			日本史概説Ⅱ	2	
			外国史概説	2	
			東洋哲学概説	2	
			西洋哲学概説	2	
			倫理学概説Ⅰ	2	
			倫理学概説Ⅱ	2	
			職業指導Ⅰ	2	
			職業指導Ⅱ	2	
			救急処置	0.5	
			福祉経済論Ⅰ	2	
			福祉経済論Ⅱ	2	
			経済開発論Ⅰ	2	
			経済開発論Ⅱ	2	
			法人税法Ⅰ	2	
			法人税法Ⅱ	2	
			所得税法Ⅰ	2	
			所得税法Ⅱ	2	
			相続税法	2	
			消費税法	2	
			保険論Ⅰ	2	
			保険論Ⅱ	2	
			アジア経済論Ⅰ	2	
			アジア経済論Ⅱ	2	
			労働経済論Ⅰ	2	
			労働経済論Ⅱ	2	
地域研究Ⅰ	2				
地域研究Ⅱ	2				
経済地理学Ⅰ	2				

系列	分野	学年 配当	授 業 科 目	単位数	最低取得 単位数
関 連 科 目	総 合 教 育 科 目	3・4	経済地理学Ⅱ	2	}
			経済史Ⅰ	2	
			経済史Ⅱ	2	
			交通経済論Ⅰ	2	
			交通経済論Ⅱ	2	
			経済学特講A	2	
			経済学特講B	2	
			国際関係論Ⅰ	2	
			国際関係論Ⅱ	2	
			国際政治論	2	
			スポーツ科学演習	1	
			体力測定評価実習	1	
			トレーニング指導法実習	1	
			運動処方論	2	
			データサイエンスと数理統計	2	
			機械学習と AI	2	
			データサイエンス特別講義Ⅰ	2	
			データサイエンス特別講義Ⅱ	2	
			日本語特殊演習ⅠA	2	
			日本語特殊演習ⅠB	2	
			日本語特殊演習ⅡA	2	
			日本語特殊演習ⅡB	2	
			日本語特殊演習ⅢA	2	
			日本語特殊演習ⅢB	2	
日本語特殊演習ⅣA	2				
日本語特殊演習ⅣB	2				

4. 教職関連科目（自由科目）

教職関連科目は、学生の希望により選択履修できる。これらの科目は自由科目であり、一部の科目を除いて卒業に必要な単位数に算入されない。

詳細については、教育職員免許状取得のための課程の頁を参照のこと。

学科	分野	授 業 科 目	第 1 年次	第 2 年次	第 3 年次	第 4 年次	
マ ネ ジ メ ン ト 総 合 学 科	自 由 科 目	教育学概論 A	2				
		教職論	2				
		生徒指導（進路指導の理論及び方法を含む）		2			
		教育心理学		2			
		教育学概論 B		2			
		教育方法及び ICT 指導法		2			
		特別支援教育		2			
		教育史		2			
		道徳教育の理論と指導法		2			
		教育課程論（総合的な学習の時間の指導法を含む）		2			
		学校と図書館 * 1		2			
		ジェンダー・教育・ダイバーシティ * 1		2			
		スチューデント・インターンシップ I * 2		1			
	スチューデント・インターンシップ II * 2		1				
	科 目	特別活動論				2	
		教育相談（カウンセリングを含む）				2	
		社会科教育法 A				4	
		社会科教育法 B				4	
		公民科教育法 A				2	
		公民科教育法 B				2	
		商業科教育法 A				2	
		商業科教育法 B				2	
		情報科教育法 A				2	
		情報科教育法 B				2	
		介護等体験実習（事前及び事後指導を含む）				2	
		教職実践演習（中・高）					2
教育実習 I（事前及び事後指導を含む）						3	
教育実習 II					2		

* 1 印の科目は進級・卒業に必要な単位数（関連科目）に算入する

* 2 印の科目は進級・卒業に必要な単位数（専門（プロジェクト研究科目））に算入する

Ⅶ 授業科目の履修申請

各年次において履修しようとする授業科目は、学年初めの指定された期日に所定の方法（オリエンテーションで説明する）で履修申請をしなければならない。履修申請は、年間の受講計画をたて、**単位を修得する意思表示をする**学年初めの重要な手続きである。この履修申請を間違えたために、授業科目の履修ができなくなり、その結果進級はもとより、卒業ができなくなる場合もあるので、以下に掲げる注意事項を厳守して、誤りのないように履修申請をすること。

(1) 履修申請は、当該学部・学科の授業時間割表を参照し、曜日、時限、コマ・コード、授業科目名、開講期間、担当教員等を確認し申請を行なうこと。

* コマ・コードとは、授業時間割表に授業科目名等と共に記載されている番号で、その時限の授業科目の固有の番号である。

(2) 履修申請をした後は、授業科目および担当教員などの変更、追加、取消しなどは認められないので、申請前に授業時間割表と照合してもう一度確認するなど、細心の注意を払うこと。なお、履修照合日が設けられているので間違いなく登録されているかどうか必ず確認すること。

(3) 履修申請をしていない授業科目は受講しても単位は認められないので、授業科目の申請にあたっては進級や卒業に必要な単位の算定を慎重に行ない、修得単位数が不足しないように万全を期すこと。

(4) 同一時限に2つ以上の授業科目を履修することはできない。

(5) 単位を修得した授業科目は、再度履修することはできない。

(6) 指定された期日までに履修申請を行なわない場合は、学業の意思なしとみなし、**退学を命ずる**（学則第69条）。

Ⅷ 正規の履修からはずれる場合

1. 再履修

履修申請をして単位が修得できなかった授業科目については、次年度において再履修することができる。なお、再履修のクラスのある授業科目は、原則として再履修クラスで受講すること。

2. 規定外履修

該当するクラスの授業時間以外のクラスで受講せざるを得ない場合は、必ず学部事務室に相談すること。ただし、1年次生の規定外履修は原則として認めない。

Ⅸ 試験について

1. 定期試験および臨時試験

- (1) 試験は、定期試験と臨時試験があり、定期試験は原則として学期末および学年末に行う。
- (2) いずれの授業科目も授業時数の3分の1以上欠席した場合には、原則として当該授業科目の受験資格を失う。ただし、病気又は、正当な理由による長期欠席の場合には、特別に考慮されることがある。
- (3) 試験時間割は掲示により連絡する。
- (4) 授業科目によっては論文（レポート）提出によって試験に代える場合がある。

2. 追試験

- (1) 追試験は、やむを得ない事情によって定期試験を受験できなかった者に対し、原則として学期末又は学年末に実施する。
- (2) 追試験を希望する者は、正当な事由を証明する書面をもって速やかに経営学部事務室に届け出ること。
- (3) 追試験は、成績通知書の当該科目にTの表示がなされた場合に限り受験することができる。
- (4) 追試験は、履修（再履修を含む）した年度に限り受験することができる。
- (5) 追試験を受験しようとする者は、「追試験受験願」を経営学部事務室に提出しなければならない。
追試験の受験料は、1科目につき200円である。

3. 再試験

- (1) 再試験は、原則として学期末または学年末に実施する。ただし、授業科目によっては再試験を行わない場合もある。
- (2) 定期試験の結果、不合格（この場合は、成績通知書の当該科目にFの表示がなされる）となった授業科目のある者は、当該授業科目の担当教員が再試験を行う場合、受験することができる。
- (3) 再試験は、履修（再履修を含む）した年度に限り受験することができる。
- (4) 再試験の受験を許可された者は、「再試験受験願」を学部事務室に提出しなければならない。
再試験の受験料は、1科目につき1,000円である。

4. 試験に関する注意

1. 通則

- (1) 試験場内では、すべて監督者の指示に従わなければならない。
監督者の指示に従わない者には退場を命ずることがある。
- (2) 試験場内では、筆記用具・持込を許された資料以外のものはすべて監督者の指定する場所におかなければならない。資料等をむき出しのまま机の中に入れてはならない。
- (3) 受験者は、学生証を机上の見やすい場所に提示しておかなければならない。
- (4) 試験開始から 20 分を経過した後は入室・受験を認めない。
- (5) 試験開始後 25 分間は退場することができない。監督者が退場を命ずる場合はこの限りでない。
- (6) 受験者は、試験中監督者の許可を得ないで試験場を出てはならない。
- (7) 試験の行われる学期の授業料未納の者、授業時数の 3 分の 1 以上欠席した者は試験を受けることができない。受験資格のない者の答案は無効とする。
- (8) 病気・事故その他正当な事由によって受験できなかった者は、診断書・事故証明その他正当な事由を証明する書面を添えて遅滞なく経営学部事務室に届出しなければならない。

2. 不正行為

試験における不正行為は厳禁とし、不正行為を行った受験生は厳正に処分する。不正行為に関する定めは本書「城西大学 学内試験等における不正行為の取り扱い指針」を参照すること。

X 成績発表

- (1) 成績発表は、経営学部事務室において、本人に成績通知書を交付することによって行う。経営学部事務室の指示に従って、必ず交付を受けること。その際、学生証を提示すること。指定された期日以外には交付しない。なお、前期末試験、学期末試験の成績は Web 上で発表する。
- (2) 成績の評価は、下記XI GPA についての「GP の基準」を参照のこと。
- (3) 成績についての疑問、質問等は早急に経営学部事務室に問い合わせること。
- (4) 事故、病気等により指定日に成績通知書の交付を受けられない場合は、代理人を定め、成績通知書の交付を受けること。その場合は学生証を必要とする。

XI GPA について

本学では、「GPA (Grade Point Average)」制度を導入している。以下に示すことを十分理解しておくこと。

1. GPA の意味

- (1) GPA の値とは、自分の成績を数値化したものである。学期毎や学年毎までの GPA や入学からの通算の GPA を比較することで、自らの学習成果の推移を知ることができる。
- (2) GPA の値には、T 評価、F 評価および Z 評価を受けた科目についても計算に組み入れられる。したがって、安易に考えて開講期間の半ばで授業参加をやめた場合などは低い値となる。

2. GPA の計算

「GPA」は、次に定める基準に基づいて評価した成績の GP (Grade Point) に各科目の単位数を掛けて合計し、履修登録した科目の単位数の合計で割った 1 単位あたりの GP 平均値 (Average) である。仮に、履修した科目の成績がすべて「S」評価の場合は GPA の数値は 4 になり、すべての成績が「C」の場合は 1 となる。

「GP の基準」

成績評価 (表示)	評価の基準 (点)	合否	GP
S	100 ~ 90	合格	4
A	89 ~ 80	合格	3
B	79 ~ 70	合格	2
C	69 ~ 60	合格	1
F	59 以下	不合格	0
T	追試験受験可	未受験 (不合格)	0
Z	失格	不合格	0

$$\text{GPA} = \frac{[\text{GP} \times \text{当該科目の単位数}] \text{の合計}}{\text{履修登録科目の単位数の合計 (T 評価, F 評価, Z 評価科目を含む)}}$$

(注) 不合格となった科目を次年度以降に再履修して合格した場合には、成績は上書きされ、過去の不合格の成績は、GPA 計算式に算入されない。

(注) GPA 計算式に算入されない科目もある。